

# 議会だより おかがき

No.132 9月定例会 令和3年10月25日発行

来る10月30日、岡垣町社会福祉協議会の創立30周年記念式典において調理ボランティアの会の長年の活動が評価され表彰を受けられる予定です。おめでとうございます！



2～4 ● 令和2年度決算

9～11 ● 町政を問う

# 142億円 2年度決算空前の額に

国からの交付金  
を最大限活用

## 1. 令和元年度（決算総額 109 億円）と比べ 37 億円の増加となった要因の多くは、新型コロナウイルスへの対応。多くは国・県からの交付金など



岡垣町は、令和2年度に7次にわたる新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を行いました。概算額は39億円になりました。



子育て世代の支援や事業者への支援、GIGAスクール（小中学校のコンピューター整備）など様々な対策も、国からの臨時交付金を活用しました。



**Q** 決算額が大きいことを知り、町民は町の財政に対し不安になるのではないかと。町民にはどのように説明をするのか。

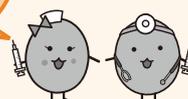
**A** 新型コロナウイルス対策に関する事業は、国・県の交付金などを活用して実施した。従来より詳しい説明が必要。

**Q** 令和2年度決算をふまえ、コロナ禍で疲弊した町の元気をどう取り戻していくか。

**A** 今後も感染対策をしっかりと行ったうえで、国・県の対応に同調しつつも、コロナ収束後、町レベルでできる限りの活動再開に取り組み、元気を取り戻したい。

最も額が大きいものは、町民一人一人に配られた10万円の特別定額給付金、これが約32億円で、全額国が負担しています。

民生費が増大したのは、10万円給付があったからだね



## 2. 黒字額は4億6229万円、平成30年度から3年間取り組んだ行財政改革も貢献



臨海荘解体後の活用に期待

町は、平成30年度から3年をかけて事務事業や職員の人件費の見直しなどの改革に取り組み、着実な成果をあげました。3年間の改革による効果額は、それぞれ3047万円、5228万円、8352万円（の支出削減、いずれも概算）と見込まれています。



**Q** じわじわと進行する財政悪化に歯止めをかけるため、取り組んだ行財政改革は評価できるが、痛みを受けた施設利用者や弱者等の話を聞いたうえで進めるべきでは。

**A** 将来の町のことを考えてサービスの維持が難しいと判断したものは、十分に説明したうえで取り組んできた。今後も、説明責任を果たしたうえで引き続き取り組んでいく。

# 令和2年度 決算 認定

令和2年度岡垣町決算は、新型コロナウイルスへの対応などを主因に、収入額146億6324万円、支出額141億7011万円と、岡垣町史上空前の規模となる決算額となりました。以下、その特徴を中心に、議会での主要質疑の一部を掲載します。

# 支出総額 激動の令和

## 3. 基金（貯金）残高を維持することができた

令和2年度は財政調整基金\*の維持と地方債（借金）残高を増やさないことを目標としていましたが、地方債残高は4593万円の微増となったものの、令和元年度に引き続き財政調整基金を維持するとともに、平成24年度決算以来の基金残高の増加となりました。主な要因は行財政改革の効果と新型コロナウイルス感染症による影響と捉えられています。



\* 財政調整基金：年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金



**Q** 基金と地方債について、本年度決算を踏まえて今後の財政状況はどう見込んでいるか。

**A** この10年、基金減少、町債増加のペースは福岡県内でも高いほうだった。令和2年度は落ち着いたが、財政構造が変わったものではないため、安定した税収・定住人口を確保することや企業誘致で法人税を生み出すことが大事と考える。

## 4. その他主要質疑（2つを紹介）

①おかがき応援寄附金

**1億1623万円**（前年度比較 +7351万円）



**Q** 1億1600万円のうち、返礼品等の費用を除いた金額はどれくらいか。

**A** 諸費用を除くとおおむね6000万円くらいである。

**Q** 今後どこまで増加を見込んでいるか。

**A** さらに力を入れて、寄附金を増やしていきたい。

②公共交通体系整備事業費

**7011万円**（前年度比較 +1330万円）



**Q** 前年度5700万円から約1300万円増加した主な理由は何か。

**A** 西鉄バスから補助金増額要請や公共交通計画の改定があったため対応した。

**Q** 町民に対して現状を丁寧に説明するべきではないか。

**A** 来年10月の見直しに向けて地域に向向いて十分な説明を行いたい。

## ■ 特別会計～新型コロナウイルス感染症による受診控え等が影響～

1. 国民健康保険事業特別会計 総額 32 億 953 万円（前年度比較 - 8451 万円）  
歳入・歳出ともに減少しましたが、1 億 5660 万円の黒字となりました
2. 後期高齢者医療特別会計 総額 5 億 9458 万円（前年度比較 + 903 万円）  
歳入・歳出ともに微増となりましたが、1811 万円の黒字となりました  
～いずれも財政の健全化の継続、安定的な事業運営に取り組む必要があります～



ワクチン接種の様子



Q 受診控えの影響をどう見ているか。

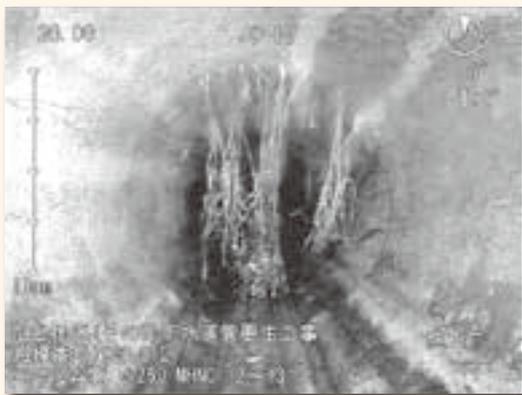
A 風邪、けが、慢性的疾患といったところが控えられたと判断される。収入減により受診できないことも理由と考えられる。

Q 国民健康保険税等、減免の状況はどうなっているか。

A 令和 2 年度において、国民健康保険税で 53 件、953 万円、後期高齢者で 11 件、56 万円である。

## ■ 公営企業会計～値上げの先送りに伴う見込み減少を、一般会計からの補填等で黒字確保～

1. 水道事業会計 黒字額 8155 万円（税抜き純利益、前年度比較 + 5539 万円）※収益的収入・支出の額を記載  
新築住宅や在宅需要の増加も収入増の要因となりましたが、一般会計からの補填を除くと黒字幅は前年より減少
2. 下水道事業会計 黒字額 9202 万円（税抜き純利益、前年度比較 - 1319 万円）  
需要増等で収入は増加するも、資産減耗費の発生（西部浄水場の廃止）で黒字幅は前年度より減少  
～今後も良質・安全な水の安定供給、経営健全化に努める必要があります～



木の根でつまった下水管



（水道事業）

Q 老朽管の更新工事等は順調に進んでいるか。

A 令和 2 年度は、計画どおり実施できた。

（下水道事業）

Q 旭台等ヒューム管を使った老朽管の更新対応状況はどうなっているか。

A 令和 2 年度は、旭西地区等の更新工事を計画どおり実施できた。

Q 下水の施設維持管理にも多額の費用を要する。国・県等の補助メニューを十分活用してはどうか。

A 最大限の活用にも努め、適切な維持管理に努める。

## ■ 監査委員の意見（一般会計、要旨）

令和 2 年度の一般会計の執行にあたっては、予算の目的に沿って実施され計数も正確と認める。決算審査にあたっては、特に、①行政改革の効果測定 ②第 5 次総合計画の総括 ③新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の事業実績確認を主軸とした。新型コロナウイルス感染症対策もあり、予算補正は 11 回にわたり総額も 140 億円超となるなど過去にない大規模なものとなったが、行政改革の成果やコロナ対策にかかる国・県からの補助金の効率活用に努めた結果、実質単年度収支が黒字となったため、地方債の若干の増加はみたものの、基金残高は平成 24 年以來の増加となった。

令和 3 年度は「まちの未来計画」のスタート年度である。新型コロナウイルス感染症の動向など直面する課題に対応しつつ、人口減少社会、急速に進む少子高齢化など、今後の状況を十分見極め、持続可能なまちづくりの実現に向け長期的な視点による効率的で健全な財政運営に努められたい。



## 令和3年度岡垣町一般会計補正予算

### 新型コロナウイルス感染症対策 3000万円

収入が15%減少した法人へ20万円、個人事業者に10万円支給されます。令和3年5月から9月までの合計収入が、令和元年または令和2年の5月から9月までの合計収入より15%減少した法人・個人事業者が対象です。町独自の事業です。(詳細は産業振興課へ)



**Q 病院や歯医者、農業や漁業従事者も対象となるのか。**

**A 対象になる。**

**Q 新規オープンしたお店は対象となるのか。**

**A 令和3年4月30日までに開業した場合に対象となる。**



該当者の皆さんに配布したチラシ

## コロナ以外の補正予算

### 庁舎内組織改編 3350万円

来年4月から組織が改編され、役場本館1階に新課を設置するための改修工事費です。



この場所に設置予定



**Q 新課の設置に伴って職員を増やすのか。**

**A 今の人数の中でやっていく。**

**Q 町独自のデジタル化の取組について。**

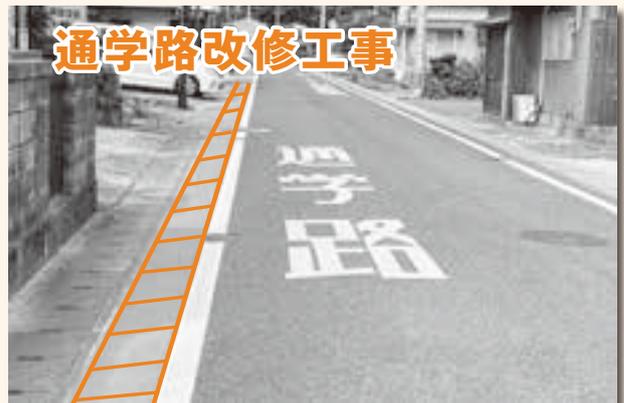
**A まずは、国から示されたことを進める。**

**Q 改修工事の目処について。**

**A 10月に入札、3月中旬を目処に工事を完了したい。**

### 通学路改修工事 2000万円

歩道がない路側帯だけの道路に「グリーンベルト」を設置することで、車道と歩行空間が明確になり、自動車等の通行車両への注意を喚起し、歩行者の安全性を高めるものとして有効とされています。



吉木区内の通学路(網かけ部分にグリーンベルトを設置)

# 令和2年度 一般会計歳入歳出決算認定

反対

弱者の声を切り捨てるな

平山 正法 議員

マイナンバーカードの取得を無理に進めることには問題がある。多額の金をかけ整備をしたが、普段はほとんど使われず、必要なときには大混乱を招いている。国民が求めているマイナンバー制度を無理に推進するのではなく、立ち止まって見直すことも必要である。

また、行政改革では経済効果や利用状況が優先されてしまい、絶対必要とする少数者や弱者の意見や声が切り捨てられている。財政効果があつたかもしれないが、本当に必要としてきた住民にとっては利益に反するもの、福祉の後退に繋がるものであると考え反対する。

賛成

行政改革の効果が表れた決算

太田 強 議員

実質収支は、4億5千49万円の黒字であり、単年度収支も財政調整基金から繰り入れることなく、1億4千804万円の黒字ある。町長は、「令和2年度は、財政調整基金残高の維持と地方債残高を増やさないことを目標とします」と述べ、結果、令和2年に引き続き財政調整基金も取り崩すことなく、平成24年決算以来の基金残高の増となっている。この要因は、町長自ら先頭に立って取り組まれた「行政改革の効果」であると判断できる。

岡垣町も少子高齢化が進む中、厳しい財政状況から行財政改革に目標を定め、町長はじめ全課、全職員が一体となって取り組まれた成果であると評価し賛成する。

新しい生活様式へ向けて

広渡 輝男 議員

実質収支は4億5千49万円で、基礎的財政収支ともいえるべき実質単年度収支は昨年度に引き続き黒字である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年ともいえる。

国・県の補助やコロナ感染症臨時交付金等を活用し、事業費は39億3千590万円で、国・県の大規模な支援を背景に、コロナ感染症対策を積極的に推進するため、第11次にわたる補正予算を編成し、事業者の経営継続支援、学校再開等への対応と子育て世帯への家計支援や、新しい生活様式に対応した事業など、町民の生活を支える取り組みを精力的に行われており賛成する。

行政改革に高い評価を

神崎 宣昭 議員

新型コロナウイルス感染症の影響で経験したことがない事態の中で、コロナ関連事業をいち早く実行されたこと、財政調整基金残高を維持し、地方債残高を増さずに「行政改革推進計画」を着実に実行されたこと、事務事業のスリム化に取り組み、経常経費を削減されたことなどを高く評価する。

なお、基金残高や地方債に気を取られ、住民サービスの低下にならないよう切に願う。あわせて、人口減少対策、少子高齢化対策に向けて、キラリと光る大胆な攻めの施策を熱望して賛成する。



# 討 論

## 過去にない大規模な決算

### 川地 啓輔 議員

新型コロナウイルス感染症対策事業などの実施により過去にない大規模な決算額になっているものの、財政調整基金からの繰り入れを行うことなく、実質単年度収支は約1億4千8百万円の黒字である。これには、感染症の影響で不用となった事業費約1億8千2百万円が含まれるが、何よりも行政改革推進計画による効果額約8千8百万円も大きな一因と言える。

今後、感染症がどのように変異していくか不明な中、異常気象による災害、少子高齢化や既存の団地の整備など岡垣町独自の課題は多いが、住民の声に寄り添った施策を進めていくことを強く切望して賛成する。

## 自主財源の確保を

### 横山 貴子 議員

実質収支額は、黒字決算となり、3年連続で改善されている。これは、町の策定した「行政改革推進計画」の実行、事務事業のスリム化による削減に努力し、意識を持って取り組んだ結果と評価する。

しかし、町の財政の構造からみると、自主財源の確保に向けた取り組みが求められる。今後も、社会保障費の増加、公共施設の維持管理等への経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の防止、新しい生活様式への対応等への経費も見込まれ、財政は更に厳しいものになる。

将来にわたって発展性を期待できるまちづくりに全力で取り組むことを要望し賛成する。

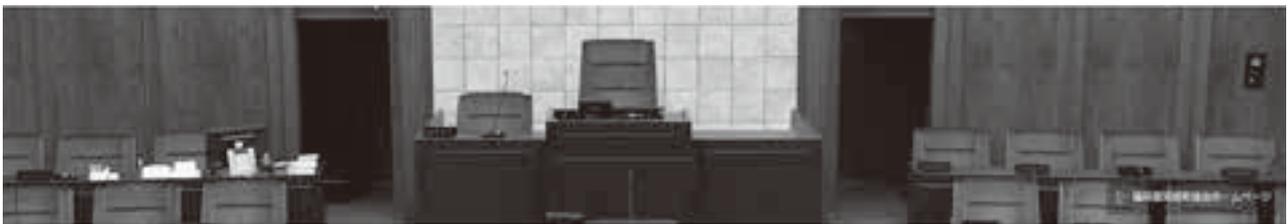
## 「協働の崩壊」阻止を

### 曾宮 良壽 議員

特に新型コロナウイルス対策において、前町長からの施政を引継ぎ、大過なく事業遂行ができたことを評価する。

これはひとえに町民の理解と協力、また町長をはじめ町職員の尽力によるものである。ただ、今後については、このコロナの影響による「負の倍返し」が懸念されるとともに、連合審査会で述べたように、町の「協働の崩壊」を第6次計画の中でどうしていくかが大きな課題となっている。

町長が強力なリーダーシップを発揮され、この課題解決に向け取り組まれることを求め賛成する。



福岡県岡垣町議会  
チャンネル登録者数 25人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル 検索

令和3年第2回岡垣町議会定例会 ▶ すべて再生

--	--	--	--	--

QRコードをスマートフォンなどで読み取ってみてください。  
チャンネル登録もよろしくお願いします！

# 議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			川地啓輔	神崎宣昭	平山正法	安里雅恵	太田大強	木原大輔	横山貴子	市津広海	曾宮良壽	広渡輝男	太田清人	三浦進
戸切小学校校舎棟及び屋内運動場外壁等改修工事請負変更契約について	9/3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
令和3年度 岡垣町一般会計補正予算 (第3号)	9/16	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	欠
令和3年度 岡垣町水道事業会計補正予算 (第1号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和3年度 岡垣町下水道事業会計補正予算 (第1号)	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和2年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9/16	賛成多数認定	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和2年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/16	賛成多数認定	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和2年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/16	賛成多数認定	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和2年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/16	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和2年度 岡垣町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/16	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
令和3年度 岡垣町一般会計補正予算 (第4号)	9/16	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	欠
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	9/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

## 議会の動き

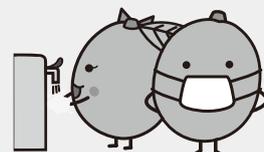
前定例会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題
7月16日	研修会	常任・議運委員長・副委員長研修
8月23日	議会運営	第3回定例会運営
9月3日 ~16日	本会議	第3回定例会 (14日間) 本会議・一般質問・委員会・全員協議会
9月29日 10月4日	議会広報	議会だより編集
10月1日	議会運営	議長からの諮問
10月5日	その他	三里松原保全活動

**中止します**

### 令和3年度岡垣町議会 住民懇談会 議員と語ろう

毎年行っている「議員と語ろう」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とします。





# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員氏名	内 容
10	広渡 輝男	1. 発展性を目指す持続可能なまちづくりについて
10	太田 強	1. 中西部地域活性化について
11	平山 正法	1. 新型コロナウイルス感染症対策について ◇2. 新型コロナウイルス感染症に伴うDV被害の深刻化について
11	安里 雅恵	1. ヤングケアラーの支援について ◇2. 電子図書館の有効活用について



議会のHPから録画データを視聴できます

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です



広渡 輝男 議員

議員

持続可能なまちづくりは

町長

財政の確保が重要

【広渡】町長は将来へ向けた都市の基盤を作るとし、「持続可能なまちづくり」を掲げられています。行政が掲げる目標を達成するには持続可能な財政基盤の確立が町の課題です。先人たちが取り組まれてきた政策・施策を「継続は力」の考え方に立ち、まちづくりを進めることこそ、町民の皆さんが住みよさを実感できるまちにつながるものと思います。

そこで、持続可能なまちづくりにつなげる政策方針、海老津駅南側開発へ向けた取組、主要幹線道路網の整備促進についてお尋ねします。

【町長】人口減少・少子高齢化が進む中、必要なサービスを継続して提供できる持続可能な社会を目指しています。

都市基盤の整備は、策定中の都市計画マスタープランに基づき、企業誘致を見据えた道路ネットワーク、海老津駅周辺の活性化や便利な公共交通体系などの利便性向上を目指します。持続可能なまちづくりには、定住人口の増加や企業誘致により、自主財源の確保が重要な課題です。



海老津駅南側広場

駅南側開発は、様々な課題がありますが、中長期的な視点で開発を誘導するエリアとして諸計画に位置付けて取り組みを進めます。道路網は国道3号と495号を基幹軸として幹線道路を整備しています。海老津宝地区と戸切百合野地区結ぶ仮称海老津・遠賀線は、駅南側の開発を誘導する広域的な幹線道路として都市計画マスタープランに位置付けていきます。

\*\*\*\*\*



太田 強 議員

議員

町の支援の考えは

町長

事業者に寄り添って

【太田】現在、中西部地域では民間活力により活性化が進んでいます。今夏に始められた波津海岸での新しい企画「リョカンピング」や現在検討されている、波津漁港内に水産加工事業者の誘致計画等今までにない地域活性化が進んでいます。これらに対する町の支援の考え方はどうですか。

【町長】リョカンピングは波津海水浴場組合、遠賀旅館組合、遠賀海浜旅館組合、岡垣町観光協会が中心となり遠賀漁協波津本所や地域関係者等が一体となつて、新たな観光事業として取り組まれていきます。

この事業は、町の観光課題である「滞在時間の長時間化」や「観光事業者のネットワーク化」、「観光資源の融合」を図ることができる事業であることから、関係機関との連絡調整等の支援を行ってききました。

また、水産振興では、遠賀漁協波津本所を中心に漁港施設を水産加工工場へ転用し、有効活用を図る検討が行われています。

町では、この取組を遠賀漁協波津本

所の新たな事業として支援したいと考えています。

【太田】観光PRについての考えは、どうですか。

【町長】観光は、町の魅力を知ってもらうことで交流人口の増加につながり、地域が活性化することで様々な産業への波及効果が期待できます。このため、報道機関等を通じた広報の活用を積極的に図るとともに、多様な媒体・手法による効果的PRが必要であると考えています。今後の新たな観光の動きを注視し、民間事業者と連携した観光情報発信拠点の強化を図りたいと考えています。



波津海岸でのリョカンピング



平山 正法 議員

議員

事業者への経済支援を

町長 広く行き渡るよう検討

**平山** 現在、緊急事態宣言等の影響を受けている法人や個人事業主に対して、月次支援金が給付されています。しかし、この給付額では事業を続けていくことが困難だという声が出ています。

町内の飲食店や中小業者を守るためにも、持続化給付金や家賃支援給付金の再支給、一時支援金の引き上げなど企業や店舗の規模に合った補償をするように国に働きかけるべきではないですか。

**町長** 本年6月2日に開催された国と地方の協議の場において、地方六団体からすでに要請がなされています。このため、本町から国に対して改めて働きかけを行う予定はありません。

今後、新型コロナウイルス感染症対策に関して、国への働きかけを行う必要性が生じたときには、これまでの国への要望と同じく、町村会を通じたルートで行いたいと考えています。

**平山** 経済支援の一つとして、一時支援金や月次支援金に町が上乗せをして支給してはどうですか。

また、今後も状況に応じて、事業者へ町としてさまざまな経済支援をすべ

きではないですか。

**町長** 商工会等の関係団体との協議の中で、国・県からの支援を受けられている事業者方以外にも、かなり経営が苦しくて、感染症の影響を受けていると聞いています。

今回、地方創生臨時交付金の事業者支援分が新たに国から交付されるようになりしました。この交付金を使って、町内の事業者に広く行き渡るような制度を検討しているところです。また、なるべく早く給付したいと考えています。



一日でも早い支給を



安里 雅恵 議員

議員

ヤングケアラーについて

町長 関係機関と協力して取り組む

**安里** ヤングケアラーとは、病気や障がいのある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話を日常的に行っている18歳未満の子どものことです。サポートや介護、見守りが必要とする人がいて、それを支える大人がいない時には、子どもであってもその役割を引き受けて、家族の世話をしている状況になるのです。そのため、進学や就職を諦めたりするケースもあります。ヤングケアラーについての実態把握と支援が急がれています。

**町長** 町では、要保護児童対策地域協議会である岡垣町児童家庭支援ネットワークを中心に関係機関の代表者や実務者とヤングケアラーに関する概念について情報を共有しました。今後関係機関との情報共有を密に行い、支援が必要な子どもの把握に努めます。また、子ども自身や家族、地域の大人たちが、気づけるように、周知・啓発も関係機関と連携して取り組みたいと考えています。

**教育長** 教育委員会では、これまでに、町内の小中学校からはヤングケアラーに該当する児童生徒がいるという報告

は受けていません。しかし、全国的にはそうした子どもがいることから、周りの大人が気づき、必要な支援につなげていくことが重要であると考えています。

**安里** 学校ではどのように実態把握をしていますか。

**教育長** 毎月のアンケートの中に項目を設けたり、日々教師が悩みを抱えた児童生徒の確認を行うなどを通して早期把握に努めています。

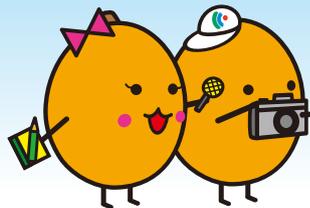
**ヤングケアラーはこんな子どもたちです**

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている	障がいや病気のあるまよろだいの世話をしている	目を測れない家族の見守りや助け合いの役割を担っている	日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている	障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
家族を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている	アルコール・薬物・ギャンブル・精神的な問題を抱える家族のケアをしている	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : izumi Shiga

びわりんびわすけの



# ちいきのちから

団体紹介：第7回 ～調理ボランティアの会～

この企画は、岡垣町で頑張っている皆さんの活動内容、町や議会への要望などを取材しています。

**「おいしい」と言ってくださる皆さんの声が一番！**

一人暮らしや食材の調達や調理が難しい高齢者等向けに、仲間と週に1回100食以上の手作り弁当を提供しています。



**Q この活動にはどんな方が参加されていますか。**

A 60代から80代まで幅広く主婦が中心となり、栄養士の先生のご指導も頂きながら平均120食をすべて手作りで提供しています。

**Q やりがいと悩みを聞かせてください。**

A やりがいは「おいしい」という声が聞こえてくることですね。一番の悩みは、会員の高齢化とそれに伴う会員の減少です。現在は、週1回の活動が限界となってしまいました。会員からは、週2回の活動要望が多いため、ぜひ、皆様会員になって下さい。

**Q 町や議会、住民に望むことは何ですか。**

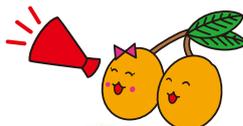
A バスでいこいの里まで通う会員が多いので、本数が増えるなど利便性の向上です。

**Q 今後の活動に向けて、ひとことお願いします。**

A できる限り続けたいです。コロナ禍で談話や懇親も控えていますが、収まったら以前のように皆でわいわい楽しみながら作りたいです。

**15人くらいで  
毎回約120食を作ります**

調理ボランティアの会は、「弁当を作る会」と、弁当を飾る「挿し絵の会」で構成されています。会員は46名（調理班34名、挿し絵の会12名）です。活動内容は、毎週火曜日、金曜日でしたが、令和3年度からは毎週火曜日の正午前から午後3時まで、いこいの里の調理室で夕食用の弁当（1食300円）を作っています。届け先の皆さんの心が和むように、弁当に添える挿し絵も描いています。



挿し絵の会はコロナ禍の現在、各々ご自宅で絵を描かれているそうです。「参加してみたい」「私も調理したい」方々を募集しています！お問い合わせは、

社会福祉協議会／担当松本まで TEL 283-2940



「毎回準備から3時間半かけて作ります」と熱く語る山田千佐代会長